



さいたま 来ぶらり通信

さいたま市図書館報

2014年11月15日発行

Contents

わがまち Sai 発見……………1,2
ハロー! 来・ぶ・ら・り 大宮図書館 無声映画……………4

本棚ぶらり 大人も楽しめる絵本の世界……………3

わがまち

はっけん

Sai 発見

さいたま市 de

ミステリー

第2弾

さいたま市が舞台の推理小説



踊り子号が爆破され、青函トンネルを走る北斗星5号にも爆破予告が。仕掛けられた爆弾の謎を追って警視庁刑事部捜査一課の十津川省三がJR大宮工場へ——西村京太郎の『寝台特急「北斗星」殺人事件』(光文社 1988年)では、トリックの鍵を握る重要な舞台として大宮駅が登場します。このほかにも、さいたま市は多くのミステリーの舞台になっています。その一部は「さいたま来ぶらり通信」第12号(2010年4月1日発行)でもご紹介しましたが、今号はその続編です。(出版年は最初に刊行された年。その後文庫化などで再刊されている資料もあります。)

「RAIL WARS!」1~9 (以下続刊)

とよだたくみ 豊田 巧著 創元社 2012~

舞台は、「国鉄」が分割民営化されずに存続している日本。鉄道高校に通う高山直人は、就職活動の一環で鉄道公安隊へ研修に行くことになり、午前7時39分大宮駅発の京浜東北線で東京駅まで通います。「国鉄」の独立した警察組織である鉄道公安隊第4警戒班と「国鉄」の分割民営化を目標むテロ集団との戦いがくりひろげられます。最初の事件は京浜東北線となすの号のダイヤグラムを利用したもので、通称大宮事件と呼ばれています。

ボンネット型特急や気動車などの旧国鉄型車両が現役で活躍していたり、高崎線が東京駅まで乗り入れしていたり、万世橋に交通博物館が存続しているなど、現実とは異なる設定もあります。貨物時刻表を利用した暗号や廃線トリックなど鉄道ミステリーとしても楽しめるライトノベルです。

希望のまちの殺し屋たち

かとうまさお 加藤 眞男著 講談社 2014

大宮駅19時30分発の寝台特急北斗星での不倫密会から物語が始まります。大宮区高鼻町に住む建築士の田辺

郁夫、大宮駅前のデパートに勤める鈴木佐恵子、浦和区の県立高校に通う樋口友也と三井愛美を中心としたミステリーです。さいたま市に暮らす平凡な市民が殺意を抱き、3つの犯行計画が絡み合っていきます。

天文台のある県立女子高校や、さいたま新都心駅前のシネマコンプレックスなどが登場する他に、鈴木佐恵子が氷川参道沿いにある図書館の2階でインターネット端末を利用する場面もあります。タイトルはさいたま市の歌「希望のまち」に由来するのでしょうか。



「私は一縷の望みで図書館に行ってみた。確か図書館にはパソコンがあってネットも利用できたはずだ。歩いていける距離に大宮図書館がある。(…)私は二階の公開図書室でパソコンに向かった。」『希望のまちの殺し屋たち』p.56より

追憶の殺意

なかまちしん
中町信著 東京創元社 2013

岩槻市の武蔵教習所の配車係が死亡します。岩槻警察署の寺内君彦警部と、岩槻の昼行燈の異名をとる中畔善太警部補が捜査を開始しますが、同じ教習所の主任と指導員が連続して殺害されてしまいます。

密室殺人事件にアリバイ破りをプラスした時刻表ミステリーで、江戸川乱歩賞の最終候補作品である『自動車教習所殺人事件』（徳間書店 1988）の改題です。

名もなき毒

みやべ
宮部みゆき 幻冬舎 2006

すぎむらさぶろう
杉村三郎が主人公のシリーズ第2作。日本を代表するグループ企業会長の娘と結婚し社内報編集者となった杉村ですが、社内でトラブルを起こした女性従業員の言動に悩まされます。そのようなときに世間では連続無差別毒殺事件がおき、そのうちの2件がさいたま市内で発生します。やがて杉村は、思わぬ形で殺人事件に関わることに……

人の命を奪う毒物、感情をコントロールできずに周囲に悪意という毒物を振りまき続ける犯人——杉村が心ならずも暴き出すのは、誰もが偶然かつ理不尽に遭遇するかもしれない毒なのかもしれません。

このシリーズは昭和名曲歌謡シリーズとも言われ、『名もなき毒』には古賀政男作曲の「丘を越えて」が作中のテーマのように使用されています。

ストロベリーナイト

ほんだてつや
菅田哲也著 光文社 2006

都立公園の近くで斬殺死体が発見され、警視庁捜査一課殺人犯捜査係主任の姫川玲子は、死体の状況からこれが連続殺人であることを見抜きます。若き警部補玲子は南浦和在住ですが、事件が起きるとホテル住まいで現場に通います。これは、玲子が過去に被害者となった事件の影響によるものです。

個性的な女性刑事を主人公とした警察小説のシリーズ第1作です。第3作目にあたる連作短編集『シンメトリー』（光文社 2008）では、玲子が警部補になる前の思い出も語られ、玲子が旧浦和市の高校出身だとわかります。

北の街物語 内田康夫著 中央公論新社 2013

記憶の中の殺人 内田康夫著 講談社 1995

あさみみつこ
浅見光彦が主人公のシリーズ。浅見光彦は、民間人で

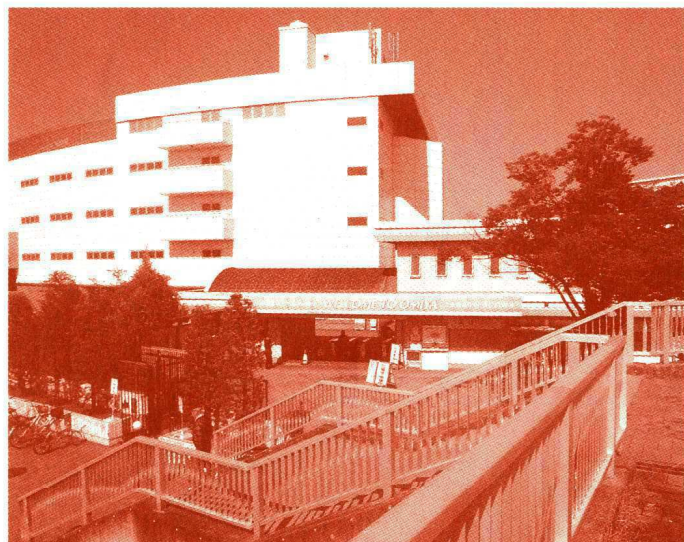
ありながら、警察機構のトップに兄・陽一郎（大宮市の警察署長を務めていたこともあります）があり、事件の関与や捜査に対して特権ともいえる切り札を持っている人物です。熱心なファンのことをアサミストと呼び、公式ファンクラブやクラブハウスが存在するというから驚きです。

妖精のブロンズ像の謎に挑む『北の街物語』は、殺人事件が起きないミステリーです。浅見家のある東京都北区を中心に物語が進みますが、ヒロイン大下真美が浦和の旧家の出身で、「大宮ケイリン」の風景が事件を解く鍵になります。

浅見光彦自身の言葉で語られる『記憶の中の殺人』は軽井沢の避暑地が舞台ですが、さいたま市ゆかりの児童文学者である石井桃子さんの作品『ノンちゃん雲にのる』が重要なモチーフになっています。

浅見光彦シリーズには、さいたま市が登場する事件がほかにもあります。『鳥取雑送り殺人事件』（中央公論社 1991）では棧俵の謎に挑んで岩槻市役所を訪れています。北原白秋の詩集の謎に挑む『浅見光彦殺人事件』（角川書店 1991）のヒロイン寺沢詩織の伯父夫婦は浦和に住んでいて、犬乗り童子の謎に挑む『朝日殺人事件』（講談社 1995）の犯人は大宮市内のマンションに住んでいました。

フルトヴェングラーの楽譜の謎に挑む『遺譜』（上・下 KADOKAWA 2014）には、副題に「浅見光彦最後の事件」とあり、冒頭には、「この作品を浅見光彦を愛したヒロインたちに捧げる」と記されています。浅見光彦は今後、本当に探偵業から足を洗うのか、そして誰と結ばれるのが、アサミストでなくても大いに気になるところです。



「大宮公園陸上競技場兼双輪場は、その正式名称のゆえんどおり大宮公園の中にある。（…）スタジアムの外観は白亜の殿堂と呼べるように美しい。正面入口の上に「WELCOME TO OMIYA」と掲げられているのが、何となく面はゆい。（…）すでにレースは始まっていて、藤田は席を温めるひまも惜しむように「車券を買いに行こう」と浅見を急かした。』『北の街物語』 p.274 より
浅見光彦たちは東入場門から入ったようです。

本棚 ぶらり

千年のベストセラー 『源氏物語』

11月1日は「古典の日」です。「古典の日」のロゴマークには、『源氏物語』を連想させる王朝時代の美男美女があしらわれています。それもそのはず、もともとは源氏物語千年紀を記念した日です。今号では『源氏物語』ゆかりの本をご紹介します。

『源氏物語』の原典は長大で読みとおすのに気後れしてしまうかもしれません。まずは手軽な現代語訳をどうぞ。

『紫の結び 源氏物語』1～3 (荻原規子／訳 理論社 2013～2014) は、原典五十四帖のうち、主人公光源氏と、関わりの深い藤壺の宮や紫の上、明石の君といった女君たちにまつわる二十五帖をまとめたものです。「少しでも楽に『源氏物語』を読み進めてほしい」と考えた訳者は、物語の骨格である愛と苦悩に満ちた光源氏の生涯を抜き出しました。

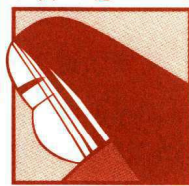
「どの天子さんの御代のことでしたやるか」ではじまる『現代京ことば訳源氏物語』1～3 (中井和子／訳 大修館書店 1991) は、源氏物語の全文を京ことばに訳したものです。『源氏物語』の登場人物が京ことばで話すのは自然な感じがして、京という土地と物語のつながりを感じることができます。



古典に抱かれて



古典に抱かれて



Halo 古典の日

このようにいろいろな現代語訳があるのも『源氏物語』が千年以上愛されてきた証拠です。作者はどのような人だったのでしょ。

『私が源氏物語を書いたわけ 紫式部ひとり語り』(山本淳子／著 角川学芸出版 2011) は『源氏物語』の作者・紫式部が書いた回顧録『紫式部日記』と歌集『紫式部集』をもとに、その他の史料や研究成果を加えた伝記です。

この本を読むと、紫式部自身の心が『源氏物語』にとらわれていたことが分かります。

紫式部は女房(侍女)として一条天皇の中宮であった彰子に仕えました。初出仕のとき『源氏物語』の作者なのだから彰子はじめ一緒に働く女房たちに暖かく迎えられるのではと期待したり、一条天皇の辞世の歌は光源氏が作中で詠んだ歌と関係があるのではないかと考えたりしています。

秋の夜長に『源氏物語』の世界を味わってみてはいかがでしょう？

大人も楽しめる



絵本の世界

第8回



『三びきのやぎのがらがらどん』

北欧民話

マーシャ・ブラウン／絵 瀬田貞二／訳
福音館書店(1965)

さいたま市ゆかりの絵本作家といえば、なんといっても数々の名訳作品を残した石井桃子と瀬田貞二だろう。

今回紹介するのは、瀬田の名訳が光る『三びきのやぎのがらがらどん』だ。

余分な形容詞を省き、独特なリズムで進んでいく昔話の構造を熟知した話の流れには、読む者、聞く者をグイグイと引き込んでいく圧倒的な力がある。

また、ノルウェーの豊かな青い空の色を基調としたマーシャ・ブラウンの絵は、一見荒々しい印象だが、少し離れてみると、その美しさにハッとさせられる。やぎたちが橋を渡る場面では、その大きさに合わせ「かたこと、かたこと」「がたごと、がたごと」「がたん、ごたん、がたん、ごたん」と擬音が変化する。同時に絵では、やぎの重さで吊り橋が弛んでいく様子が俯瞰の視点でしっかり描写され、文字と絵が相互を助ける、巧みな演出となっている。

またこの作品には、「火かき棒」「田楽ざし」といった古臭い言葉も出てくる。しかし、それを質問してくる子どもがまずいないのは、圧倒的なお話のリズムと流れに身を任せ、聞き終わったときの満足感・幸福感を自ら壊したくない気分させるからだろう。

絵本にとって重要なのは見た目が良いといった表層的な事ではなく、子どもの視点に立ち、真摯に取り組んだ作品であるかということだ。まさにお手本ともいえるこの作品は、今後も廃れることなく読み継がれていくことだろう。

武蔵浦和図書館

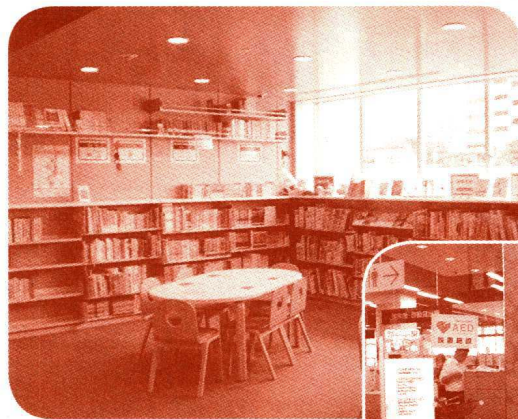
発展目覚ましい武蔵浦和駅から1分という便利な立地にある複合施設サウスピアの2階・3階に武蔵浦和図書館があります。

平成25年に開館し、さいたま市で24番目の図書館です。広さは約1300㎡、吹抜けになっているので、明るく開放的な雰囲気です。駅から連絡通路が直結しているため、多くの通勤・通学者にご利用いただいているほか、子育て支援や児童サービスにも力を入れています。

入り口は3階にあり、館内へ入ると、小説、文庫、CD、雑誌、新聞が並び、読み物を楽しむ場、情報収集の場となっています。2階へ下りると、正面に、実用書、参考図書、地域資料が並び、通勤・通学者に需要のある入門書、ビジネス書を数多く取り揃えています。また、大きな活字の本が並び大活字本コーナーや、別所沼ゆかりのコーナーがあります。インターネットや無線LANを利用できる席もあります。

一方、右手奥に進むと、家事の本、子育て支援コーナー、中高生向けのヤングコーナー、子どもの本が並び児童室があります。児童室には、ガラスパーティションで仕切られた「おはなし室」があり、あかちゃん・幼児・小学生向けのおはなし会を定期的に開催しています。イベントのないときは開放していますので、靴を脱いであがり、親子でゆっくり絵本の読み聞かせをお楽しみいただけます。

幅広い世代の交流拠点であるサウスピアにご用向きの際は、武蔵浦和図書館にもお越しください。



児童コーナー



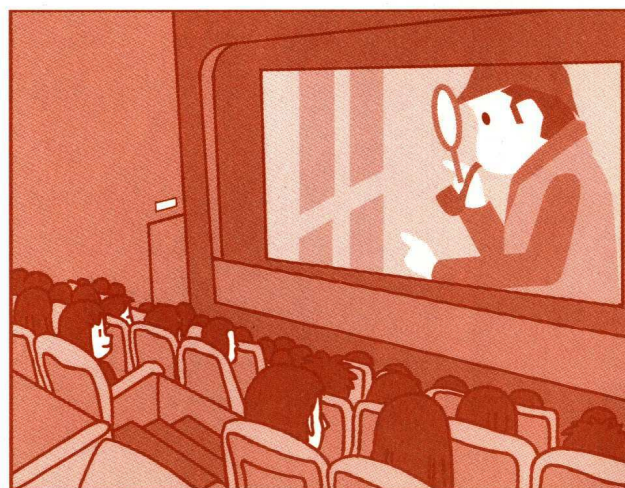
大宮図書館

無声映画鑑賞会

大宮図書館では、毎年活動弁士の方をお迎えし、無声映画鑑賞会を開催しています。

無声映画とは、音声の出ない映画のこと。映像に合わせて活動弁士が台詞やナレーションを加え、独自の映像世界を編み出します。

映画鑑賞会は毎年大変な人気で、前回は満員御礼になるほどの大賑わいでした。今年度も来年2月に実施する予定です。ぜひご来場ください。



編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館 832-2321	三橋分館 625-4319	与野南図書館 855-3735	大久保東分館 853-7100
東浦和図書館 875-9977	春野図書館 687-8301	西分館 854-8636	北図書館 669-6111
大宮図書館 643-3701	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523	宮原図書館 662-5401
桜木図書館 649-5871	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮西部図書館 664-4946	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665	南浦和図書館 862-8568
馬宮図書館 625-8831	与野図書館 853-7816	桜図書館 858-9090	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 今回はさいたま市が舞台になっているミステリー特集・第2弾をお届けしました。秋の夜長の一冊にいかがでしょう。あなたの町が舞台になっているかも。

次回発行予定：3月15日（年3回発行）



さいたま来ぶらり通信は2,000部印刷し、一部あたりの印刷経費は21円です。